

適正利用・エコツーリズム検討会議  
「外国人旅行者向け情報発信の強化」部会の解散について

2019年2月5日  
知床財団

「外国人旅行者向け情報発信の強化」部会（以下部会）は、2015年9月の適正利用・エコツーリズム検討会議における当財団からの提案により設置され、活動してまいりました。これまで3年にわたる活動では多くの関係者のご支援をいただき、様々な成果を上げることができたことを感謝いたします。当初予定していた事業については一定の成果を上げたと考え、2019年度以降は、各団体それぞれが連携をとりながら提案に関連する活動に継続的に取り組んで頂いただき、部会としては解散することとなりました。

これまでの事業成果および、今後の継続運用については、下記の通りと考えています。

1) 「知床情報玉手箱」サイト

知床地域の情報発信のプラットフォームとして継続・発展させる。  
知床財団および観光関係者で運用。

2) 「しれとこ森づくりの道・開拓小屋コース」

新規遊歩道開設・運営の知見を活用し、自然センターを起点とする野外アクティビティや、情報提供・レクチャー提供などの機能の充実を図る。  
斜里町および知床財団で運用。

3) 「知床連山エリア MAP」

バックカントリーエリアの情報提供ツールとして活用を推進していく。  
知床財団が販売、必要に応じて改訂。

4) 各関係機関との協働

基本的な運用における協働は、2018年度の事業一覧に準じるものとし、今後別途事業化案件があれば、個別に対応する。

(参考資料)

1. エコツーリズム検討会議への提案書（成果に関するコメント付き）
2. これまでの活動経過（2015-2019年）
3. 各団体の2018年度 部会活動に関連する事業一覧